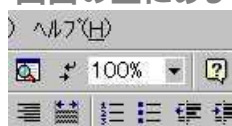


これは、西尾文化研究所の著作物「Dブック」です。他人へのコピーを一切禁じます。お子さんの、読む・書く・想像する勉強に、世界の基礎知識として、お役立て下さい。(全体をつかむために年数はおおざっぱに表現しています)。

西尾文化研究所 Tel&Fax56-4123(西尾市総合体育館東)
高橋博己 E-mail: bunka@nishnet.ne.jp

画面の上にある



ひゃくばーせんと おお ひょうじ よ
ここを 100% にすると大きく表示されるので読みやすくなります。

ひと ぶんめい はっせい 「人と文明の発生」

< 女声 >

まえ お
前置き。

ちきゅうじょう はんえい ほにゅうるい よ どうぶつ るい
地球上で、**繁栄しているのは、哺乳類と呼ばれる動物です。**その類は、
いま まんねんまえ はっせい
今から 6500万年前に発生しました。

まんねん じかん なが ほん すう お か そうぞう
この 6500万年という時間の長さを、本のページ数に置き換えて、想像して
みましょう。

にしお し としょかん ほん およ まんさつ
西尾市の図書館には、本が、凡そ、20万冊あります。その、1 ページ、
1 ページに、じんるい れきし ねん か
1 ページに、人類の歴史、1年が、書かれているとすれば、おおよそ、
まんねん
6500万年になります。

さいしょ じんるい ほにゅうるい はじ か
その、最初のページには、人類のもとになる、哺乳類の始まりが、書かれて
ています。

おどろ じんるい とうそつ おお しゅうだん も
そして、驚くことは、人類が、統率された大きな集団を持つようになってか
らの、れきし さいご さつ おさ
すべての歴史は、最後の、たったの、14冊に納まってしまうのです。

まんさつ さつ
20万冊のなかの、14冊です。



哺乳類は卵を産みません



木の枝のよつに多くのグループに分れてきました。

< 男声 >

さあ、^{わたし}私たちは、^{いま}今、^め目の前に、^{まへ}非常に^{ひじょう}大きな^{おお}大木を、^{たいぼく}眺めて^{なが}いるとおも^{おも}って^{くだ}下さい。

この^き木は、^{まんねん}6500万年も^い生きています。、それは、「^{ほにゅうい}哺乳類と、^{しぜん}自然の^{せかい}世界」、^きという^{まんねん}木です。^{あいだ}6500万年の^お間に、^{しげ}生い茂った、^{じゅもく}樹木の^{えだ}枝の^{なか}中には、^{とちゅう}途中で、^か枯れて^{えだ}しまった^{えだ}枝も^おあります。しかし、それより、^{えだ}多くの^{えだ}枝が、^{さか}栄えた^{えだ}のです。

こんにちでは、^{あま}余りに^{おお}大きくなった、^{きぜんたい}木全体の^{すがた}姿を^み見ることは、^{むず}難しい^{もんだい}問題です。

これから、^{みじ}短い^{じかん}時間の^{あいだ}間に、その^{まんねん}6500万年を^み見て^きみましょう。木には、^{えだわか}枝^{ところ}別れする^{ふしぶし}所に、^{ふし}節々^{たど}があります。節を^{えだ}辿って^み枝を^ゆ見て^ゆ行くように、^{ほにゅうい}哺乳類の^{だいひょう}代表、^{にんげん}人間と^{しぜんせかい}自然世界の、^{れきし}歴史の^{ふしぶし}節々を、^{たど}辿ってみましょう。

この^き木の、^{きおく}記憶に^{あた}新しい、^{えだ}枝の^{さき}先には、^{ごう}ビートルズや、^{アポロ}アポロ 11号も^{ごう}あるのです。この^{えだ}枝の^{さき}先は、^{せいぎ}21世紀の^{くわん}空間に^つ突き^で出て^ゆ行こうとして^いま^すす。

< 女声 >

とお^{とお}遠い、^{まんねんまえ}6500万年前。^{きょうりゅう}恐竜に^{かわ}代わって、^{にゅうい}ほ乳類の^{じだい}時代が、^きやって^き来まし^たた。

こんにちの、^{わたし}私たちの^めようである^{さかな}ためには、^{りょうめ}目が、^{りょうめ}魚の^{りょうめ}ようではなく、^{りょうめ}両目^{まえ}とも^む前^つに向いて、^つ付いて^{なければ}なければ^{なりません}なりません。

そう^{はじ}なって、^{りたいてき}初めて、^{もの}立体的に^み物を見る^{ことができます}ことができます。

さらに、^{しきさいかんかく}色彩^{はったつ}感覚も^{はったつ}発達^{しなければ}しなければ^{なりません}なりません。



いまから 5000 万年前、猿が、そういう動物として、登場したころ。

のちの、主流となる文明が生まれた舞台である、ここ、ユーラシア大陸は、緑生い茂る、ジャングルでした。



ユーラシア たいりく
Eurasia大陸

< 男声 >

ほかにも大きな大陸として、ゴンドワナ大陸がありました。

恐竜の時代から 3000 万年前にかけて、このゴンドワナ大陸が、ユーラシア大陸の南側に、衝突しました。

そのあと、離れて、ばらばらに、4つの大陸になりました。

それらが、今の、アフリカ、オーストラリア、南アメリカ、南極です。



衝突された、ユーラシア大陸は、海岸付近の陸地に、しわをつくり。アルプスやヒマラヤを、中心にして、長く盛り上がり、山脈ができてしまいました。

この出来事からあと、水分を含んだ気流が、内陸まで、届かなくなり、中央アジアは、降雨量が減って、少しずつ、乾燥してきます。

< 女声 >

幾らかの時間が流れました。1800 万年前。

木の上に住んでいただろう、人類の祖先は、

森林の衰退につれて、原野にも出て、小さな群れをつくっていた。

又、幾らかの時間が流れました。今から 400 万年前から 150 万年前にかけて、二本足で動くことを覚え、少人数で一緒に行動し、植物の実をつぶしたり、小動物の肉を食べたりして、過ごすようになってきました。

他の大陸でも、同じように始めていました。



あーリー まん
early man
こたいじん
古代人

< 男声 >

つぎ お しぜん あっか きこう
次に起きた、自然の悪化は、季候でした。

ヨーロッパ、アジア大陸の上半分。北緯50度以上が、氷に覆われてしま
う、氷河の時期が、4回も襲いました。



でも、100万年前から1万年前の、この間に、
人類は、火を扱い、指を使うなど。より、人間に、近くなりました。40
万年前です。

< 女声 >

きこう よ まんねんまえ ころ
気候が、良くなってきた15万年前の頃。

人間は、作業の段取りを、前もって、イメージ出来るようになって、予定通
りに、複雑な、投げやりを発明したり。

死んだ仲間を、土に埋葬したりする、などの文化をもって現れた、ネアン
デルタール人は、脳が大きくなった、ヨーロッパ、最初の祖先でした。
細胞内のミトコンドリア DNA の配列を分析した結果、現代人とは
共通しない異なる祖先であることが分かっている。

しかし、実際の祖先になったのは、この頃、アフリカから、ユーラシア大陸
に渡ってきた、人類、共通の人種でした。今日の、世界の人種は、同じ
DNA をもっています。移動をつづけながら、多くの人種に分かれたので
す。

ヨーロッパでは、新しいタイプの人間として登場しました。

今から5万年前。のちの、ヨーロッパの、人々の本当の祖先になる、
クロマニオン人です。

背は高く。言葉の音は、母音のほかに、子音も、発音できるようになり



の舌を開けたままに出せる音を母音とします。



ました。

気温が、上昇して、溶け出した氷河が、野を潤すと、植物が増え 川や、
緑地からの収穫が増えてきます。

いままで、洞窟地域を、移動していた人間は、水辺を、中心にして定住を
始めます。

血族的に繋がりのある、集団にまとまって、孤立して、自給、自足の
生活をする村が誕生しました。

一族の中からは、指導者も誕生しました。

人間は、この時期に、植物栽培と、動物を飼いなすことを考えた。
ちょうど1万年前です。

つづいて起きた、海水面の上昇によって、ヨーロッパの西の端で、
イギリスが孤島になったのは、この頃でした。

< 女声 >

さらに、気候が乾燥してくると、多くの村々が、もっと巨大な、河の辺に
移動して、血族が異なる同士でも、一つの大きな集団になりました。

国、という言葉の、初めての呼び名、のちの、ギリシャ語で「ノモス」と
呼ばれる、地方国家が、こうして誕生しました。

もっと ふる くに きた じん つく
最も古い国は、北アフリカの、ハム人たちが作った、エジプトです。

エジプトでは、農業に必要な、水を確保したり、洪水に対する対策など、
灌漑を、共同で管理するために、責任者と、その働き手を、決めました。

これが官僚組織の始めです。

いま ねんまえ せかい じんこう まんにん ころ
今から 5000年前、世界の人口がおよそ 9000万人の頃でした。

< 男声 >



おな ころ ひがしちいき みんなぞく あらそ ぜんいき
同じ頃。ヨーロッパでは、東地域の民族が、争いながらヨーロッパ全域に
かくだい
拡大をはじめました。

ちちゅうかい いた ちいき いく くに せいこう
地中海から、アジアに至る地域で。幾つもの、国づくりに成功して、それら
たがい たいりつ えいきょう せいなん きょだい くに
が互いに対立したり、影響しあい、ついに、西南アジアに、巨大な国、
かんせい とし せいれききげん い せいれき ぜろねん
「ペルシャ」が完成されました。その年を、西暦紀元で言えば、西暦0年の
すこ まえ せいれききげんぜん せいき
少し前。西暦紀元前、6世紀です。

たみんぞく おこな たが こと ふうぞく しゅうかん ゆる
多民族が行ってきた、互いに異なる、風俗や習慣は、そのまま許され、
りくじょう こうつう はったつ しょうぎょう さか はってん
陸上は交通が発達し、商業が盛んに発展しました。

ペルシャ
(今のイラン)
ギリシャ



< 女声 >

しかし、ペルシャと全く同じ時期に、一方では、みんなで、自分たちの
くに つく れきしてき じゅうよう なが はじ
国を作るとい、歴史的に重要な流れも始まっていた。

どういつこっか ちほう とし どりつ
統一国家になるのではなく。ギリシャのように、地方の都市が、独立した
せいじ おこな あつ きょうどうたい こっか たんじょう
政治を行い、それが集まった、共同体のような、国家が誕生してきた
のです。

「ギリシャ」では、出来上がった、沢山の都市国家の政治は様々で、王家
しはい とし せんきょ しどうしゃ き とし
が、支配する都市もあれば、選挙で指導者を決める都市も、ありまし
た。

とし こっか どうし おな かみ すうはい きょうつう かし かん
これらの、都市国家同士は、同じ神を崇拝するなど、共通の価値観を
たいせつ きょうどうたい いしき
大切にして、共同体意識をもちました。

だいひょうてき とし こっか ぶんがく しぜん かがく せいじがく
ギリシャの、代表的な都市国家。アテネでは、文学、自然科学、政治学、
てつがく いがく おお がくもん たんじょう きげんぜん せいき ぜんご
哲学、医学など、多くの学問が誕生しました。紀元前5世紀前後から、
こうはんい ばくはつてき さか ぶんか もじ れきしじょう はじ ぼいん
広範囲に爆発的に栄える、ギリシャ文化と、文字の歴史上初めて母音を
ひょうげん てき もじ つた えいきょう
表現出来たギリシャ文字が、イタリアのローマに伝わると、その影響によっ
て、ローマにラテンと呼ばれる文化と、ラテン文字が生まれ出された。

むかし おう しはい よ
ローマを、昔、ラティヌス王が支配していたので、ラテンと呼んだのです。

< 男声 >

ラテン文化と、23文字のラテン文字、そこで話された言葉、ラテン語は。紀元前後から、巨大になってゆく、ローマ帝国の影響と共に、地中海、一帯に伝わり、変化を引き起こしました。

それを更に広めたのは、5世紀前後に、ヨーロッパ北部から南へ大量に侵入した、文字を、持たなかったゲルマン民族でした。ローマ帝国を滅ぼした後、自分たちの言葉を、ラテン文字で書き表すようになったので、これで、ヨーロッパ全域に、共通の文化が生まれる、基礎ができあがりました。ラテン文字は、こんにち、アルファベット、と呼ばれています。

その後、地域の分裂によって、かつてのローマ帝国時代のラテン語は。フランス語、イタリア語、スペイン語、ポルトガル語、ルーマニア語、などにわがれました。

ゲルマン民族のゲルマン語は、英語、ドイツ語、オランダ語、スウェーデン語、などになっています。

ABCDEF G
HIJKLMN
OPQRSTU
VWXYZ

< 女声 >

こんにちの世界は、殆ど、この当時に出来上がった集団のシステムを、そのまま引き継いでいます。

一方、独自の文化を、持っている、エジプトのハム人や、同じく、最も古い文明をもつ、メソポタミアの、セム人の文化は、現在も北アフリカや、西南アジアに、広く大きな足跡を残しています。

もともと、ギリシャ人に文字を教えたのも、セム人でした。

ながい、歴史の結果。人類は争いについても、平和についても、話し合

い^{もくてき}で目的を果^はたすことを学^{まな}びました。

ギリシャ時代^{じだい}から、2500年^{ねん}を経^へた現代^{げんだい}でも、方法^{ほうほう}が完全^{かんぜん}に普及^{ふきゅう}したとは、

まだ言^いえませんが、

話し合^{はな}いの現場^あに、多^{おお}くの人々^{ひとびと}が立^たち会^あうことで、

よ^{やくだ}り、役立^{かいりょう}つシステムに、改^{かい}良^{りょう}されてゆ^ゆくでしょう。



経^{けいざい}済^はが発^は達^{たつ}した、国^{くに}と地方^{ちほう}では、成^{せいこうしゃ}功^{こう}者^{しゃ}が指^{しどうしゃ}導^{どう}者^{しゃ}になり。個^{こじん}人^{じん}崇^{すうはい}拝^{はい}的^{てき}な

国^{くに}と地方^{ちほう}では、国^{こく}王^{おう}や軍^{ぐん}人^{じん}が指^{しどうしゃ}導^{どう}者^{しゃ}になり。宗^{しゅうきょう}教^{きょう}に^もとづいた^く国^{くに}と

地方^{ちほう}では、宗^{しゅうきょう}教^{きょう}指^{しどうしゃ}導^{どう}者^{しゃ}が、指^{しどうしゃ}導^{どう}者^{しゃ}になり。

選^{せんきょ}挙^{きょ}が発^は達^{たつ}した、国^{くに}と地方^{ちほう}では、地^ち位^いに^{かん}係^{けい}なく、選^{えらば}ばれた^{ひと}人^{しどうしゃ}が指^し導^{どう}者^{しゃ}になって。

国^{くに}や、地^ち域^{いき}で生^{せい}活^{かつ}する人々^{ひとびと}の、一^{ひとり}人^{ひとり}一^{ひとり}人^{じんせい}の人生^{おお}に、大^{えい}きな影^{きょう}響^あを^{あた}与^あえる

決^け定^{てい}を^いし^ます。

< 男声 >

以^い上^{じょう}、述^のべてきた^{わたし}よ^わうに。私^{わたし}たち^は、一^{ひとり}人^{ひとり}一^{ひとり}人^{じんせい}は、こ^たこ^で迎^{むか}った、

6500万^{まんねん}年^{えだ}の枝^{さき}の先^{さき}に^いま^す。

現^{げんざい}在^{ざい}は、長^{なが}か^つつた氷^{ひょうが}河^が時^{じだい}代^{だい}の中^{なか}の、第^{だい}4^{ひょうき}氷^{ひょうき}期^きの、間^{かん}氷^{びょうき}期^き、つ^まり、暖^{あた}かく

な^つつた時^じ期^きに^いま^す。



卵^{たまご}を^う産^{せいぶつ}む^も生^む物^{むかし}は、最^いも昔^{もの}か^らの、生^いき^{もの}物^{もの}で^あり。

哺^ほ乳^{にゅう}類^{るい}の^{どう}物^{ぶつ}は、最^もも^はん^しよ^く殖^なした、仲^{なか}間^まで^あり。

大^{たい}陸^{りく}は、今^{いま}でも^いど^うも^いど^う移^い動^{どう}して^いる^し。

こ^{えだ}の^{なん}枝^{ぜん}は、こ^{なん}れ^{まん}か^{ねん}ら^{ねん}何^の千^ゆ年^{ねん}も、何^の万^ゆ年^{ねん}も、伸^のび^ゆて^いき^ます。

将^{しょうらい}来^{らい}、人^{にん}間^{げん}が、宇^{うち}宙^{ちゅう}に、移^い民^{みん}する^{ころ}頃^{ころ}。

ちきゅうじょう すがた
地球上は、どんな姿になっているでしょうか。

いみんさき くら す
移民先と比べると、どちらが住みよいのでしょうか。

いま ちきゅう まいにち なんみん ひとびと くに くに いどう
今の地球では、毎日、難民の人々が、国から国へと移動しています。



(16分50秒)

出版：[西尾文化研究所](#) 1999年春
著者：[西尾文化研究所](#) [高橋博己](#)